



1月17日 館野小学校放課後子ども教室にお邪魔いたしました

ごあいさつ

令和7年2月4日

2月1日、お隣白山市の市制施行20周年記念式典に出席させていただきました。平成17年2月1日に松任市、美川町、鶴来町、河内村、吉野谷村、鳥越村、尾口村、白峰村の1市2町5村が合併し、現在の白山市が誕生してから20年の節目となります。

「平成の大合併」と言われますが、平成11年から22年にかけて、基礎自治体の行財政基盤確立などを目的に、国による市町村合併が全国的に進められ、石川県でも41あった市町村が、現在は19市町となっています。当時、野々市町も合併論争の渦中であり、町長選挙でも合併が争点となるなど、さまざまな意見が交わされていたことが思い出されます。

結果として、合併を選択せず、単独市制を実現した野々市市と、大合併により誕生した白山市とは、いろいろと比べられることも多いですが、消防業務やごみ処理、病院経営を共同で行うなど、大切なパートナーでもあります。令和5年には、白山市全域が「白山手取川ジオパーク」としてユネスコ世界ジオパークの認定を受け、世界水準のブランド力のもと、観光や教育、保全活動などさまざまな取り組みをされておりますが、手取川扇状地に住み、霊峰白山の恩恵にあずかっている私たちにとっても白山手取川ジオパークは大きな誇りであります。

市制施行20周年を迎えられましたことに心からお祝いを申し上げますとともに、豊かな自然と文化、歴史、産業が息づく白山市のますますのご発展をお祈りいたします。

1月12日、成人式が行われ、本市では838人が二十歳の節目を迎えられました。式辞のなかで、昨年ノーベル平和賞を受賞された日本原水爆被害者団体協議会についてお話させていただきました。日本原水爆被害者団体協議会は人類初の被爆という想像を絶する苦難を乗り越え、68年にわたり核兵器のない世界の実現を目指し、世界に訴えられてきました。尊い志を持ち、地道な努力を続けることの素晴らしさ、新成人の皆さんの心の中に少しでも残れば幸いです。

雪の少ない穏やかな1月でありましたが、今日から今季一番の強い寒気が到来しています。日本海側を中心に広い範囲で大雪となり、寒気が次々に流れ込むことから長期間にわたり影響が出るとの予報が出ています。市では迅速な道路除雪に努めてまいりますが、積雪や凍結による交通障害も懸念されます。大雪時は不要不急の外出はお控えいただきますとともに、生活道路など地域ぐるみの除雪にご協力をよろしくお願いたします。今後の気象情報に十分ご注意のうえお過ごしください。